# 水源環境保全・再生かながわ県民会議の仕組み

## 【水源環境保全・再生かながわ県民会議とは】

水源環境保全・再生の取組の推進にあたって、計画、実施、評価、見直しなど、施策の 実施段階に応じて、県民意見を反映させていくために設置した組織。

下部組織として、有識者を中心とした2つの専門委員会と公募委員を中心とした3つの 作業チームを設置。

## 県民の意見を施策に反映

## 水源環境保全・再生かながわ県民会議(年3回程度)

【役割】 施策評価・市民事業等支援・県民への情報提供

①有識者(9名) -専門的視点からの意見 【構成】

- ②関係団体(5名)-施策連携等の視点からの意見
- ③公募委員(10名) 県民の視点からの意見



報告



連

携

## 専門家による特定課題の検討 ( 専門委員会 )

#### 施策調査専門委員会(年3回程度)

【役割】施策評価及びモニタリング 方法の検討

【構成】森林、水、環境政策等の有 識者

#### 市民事業専門委員会(年5回程度)

【役割】市民事業等支援制度の検討

【構成】市民活動等の有識者及び関 係団体

## 県民視点による広報・広聴の取組

#### 県民フォーラム(年4回程度)チーム

【役割】県民フォーラム(幅広い県民の意 見収集及び情報提供)の企画運営

· 【構成】公募委員中心

## : コミュニケーションチーム

【役割】県民への分かりやすい情報提供方Ⅰ 法の検討

【構成】公募委員中心

### ・ 事業モニター(年3回程度)チーム

【役割】施策事業のモニター

【構成】公募委員中心

参加・意見表明

県民(個人・NPO・事業者等)



県民への 情報提供